

2005年12月16日

各位

アドバンテッジパートナーズ有限責任事業組合  
株式会社MKS パートナーズ  
ユニゾン・キャピタル株式会社

カネボウ株式会社の株式取得に関するお知らせ

アドバンテッジパートナーズ有限責任事業組合、株式会社MKS パートナーズ、ユニゾン・キャピタル株式会社は、株式会社産業再生機構（以下「機構」）が所有するカネボウ株式会社（以下「カネボウ」）および株式会社カネボウ化粧品（以下「カネボウ化粧品」）の株式の売却入札につき、花王株式会社（以下「花王」）と共同で応札しておりました。

本日、私ども3者が運用に携わるファンド（以下「3ファンド」）がカネボウの株式を、花王がカネボウ化粧品の株式をそれぞれ取得することで機構と合意に達し、株式売買契約に調印致しましたのでお知らせ致します。機構の保有するカネボウC種類株式の取得は、3ファンドが出資する買収受皿会社であるトリニティ・インベストメント株式会社（以下「トリニティ」）を通じて2006年1月末に行います。またカネボウ化粧品の保有する同C種類株式についても、2006年2月中旬を目処にトリニティを通じて取得する予定です。なお、本件においては、UBS証券会社が3ファンドのフィナンシャル・アドバイザーを務めております。

3ファンドは、それぞれ日本におけるプライベート・エクイティ投資のパイオニアとして1990年代より投資実績を重ねてきました。また、企業再生および消費財関連企業への投資において数多くの経験を有する国内独立系ファンドという点でも共通しています。

カネボウは、各事業分野において強力なプロダクトブランドとそれを基盤とする大きな競争力・成長性を有します。カネボウが最高品質の製品とサービスをお客様、お取引先様、そして社員の皆様に対して提供し続けられる企業として生まれ変わり、今後の成長を確かなものとする事ができるよう、3ファンドはひとつのチームとして機構からスポンサーの役割を引き継ぎ、必要な支援を提供してまいります。

また、社員の皆様が主体的に再生のプロセスに参加して成長を実感できる仕組み、3事業が一体として再生完了へ向けた取り組みに集中できる体制を整えることが重要であると考えており、そのために求められる経営や組織のあり方について今後検討を進める予定です。

以上